第二週　神の恵みの福音

2016 ICSC 2J

恵み（三一の神の側）

Ⅰ.恵みと神の恵みの福音

/ヨハネ1:17　使徒20:24 エペソ3:2

恵みの定義:神ご自身がキリストの中でその霊として私たちに与えられ、私たちによって得られ、私たちによって享受されることです。
神の恵みの福音とは、恵みの執事職であって、神を人々の中へと分与して、彼らの享受とならせることです　/ヨハネ1:17;使徒20:24;エペソ3:2

A 神は,創世の前に恵みを私たちに与え享受するよう定められました。（定められた御旨）

/エペソ1:3-6 Ⅱテモテ1:9

キリストの中で私たちに与えられた恵みは、この世が始まる前に私たちに与えられました

B 神が肉体（キリスト）と成って,時間の中で接触し、触れ、享受することができる

/ヨハネ1:14,16

初めからおられた神は、時間の中で肉体と成って、人が受け入れ、所有し、享受するための恵みとなりました。そして神を、接触することができ、触れることができ、受け入れることができ、経験することができ、入ることができ、享受することができるものとしました

C その霊として実際化され、私たちの満ちあふれる供給と享受となります

/ヨハネ16:13 ガラテヤ3:14

主イエス･キリストの恵みは、三一の 神（彼は、御子の中に具体化されており、命を与える霊として実際化されています）の満ちあふれる供給であり、私たちの霊を活用することを通して、私たちによって享受されます　/ガラテヤ6:18

神の恵みの福音　私たちの側）

D 私たちは日々恵みを受け入れ、分与すべきです（三一の神を私たちの享受として絶えず流れ込ませ流し出させる）

/エペソ3:2 イザヤ12:3 ヨハネ7:38

日々、驚くべき神聖な伝達が起こっているべきです。神は、恵みの霊をあふれるばかりに供給しています。私たちは絶えず、恵みの霊を受け入れ、分与しているべきです　/ヨハネ1:16;ヘブル10:29;エペソ3:2,4:29

- ❖ 受け入れることは三一の神が流れ込むこと　（イザヤ12:3 Ⅰコリント12:13）
- ❖ 分与することは、三一の神が流れ/湧き出ること　（ヨハネ7:38）

E 私たちが恵みを受けて流し出す道―霊に戻り、霊を活用して、主に御座に着いていただくことです（至聖所に来て,主と会う）

/ヘブル4:16 ローマ8:14

日々、恵みを受けて、私たちが恵みを流し出す道は、霊に戻り、霊を活用して、主に御座に着いていただくことです

/出25:22フットノート1 /詩歌557

1 流れの源:恵みの御座は、私たちの霊の中にあります。私たちは満ちあふれる恵みを、私たちの内側の諸部分の中に受け入れる必要があります。
それによって恵みは私たちの内側で王として支配し、私たちは命の中で王として支配し、サタン、罪、死に打ち勝ちます　/ヘブル4:16;ローマ5:17,21

2 流れのスイッチ:恵みの御座へと来るときはいつも、主に御座に着いていただく　/コロサイ1:18;啓2:4

3 流れの遮断:主を御座に着かせず、主を御座から降ろすときはいつも、恵みの流れは止まります　/啓22:1

4 流れの流通:主イエスに御座に着いていただくなら、その霊は生ける水の川々として、恵みの御座から流れ出て、私たちを供給します　/ヨハネ7:37-39;使徒6:4

F 私たちが恵みを受けて分与する道―血,言葉,その霊と召会（至聖所に来て、神の言葉を聞く）

/ヨハネ6:63

日々、恵みを受けて、私たちが恵みを分与する道は、血、言葉、その霊、召会を通してです

1 主の血により道を開く: 贖いの血、契約の血、神ご自身の血は、罪深い、腐敗した人々を、神の永遠の享受の中へともたらします　/使徒20:28;マタイ26:28;ヘブル10:19

2 主の言葉による享受: 神の言葉は、私たちによって食べられて、彼の恵みの言葉となり、私たちの心の楽しみと喜びになることができます　/使徒20:32;エレミヤ15:16;ヨハネ6:63

3 その霊による油塗り: 恵みの霊は、手順を経て究極的に完成された神の満ちあふれる供給として、歓喜の油であり、それをもって私たちはキリストのパートナーとして塗られます。
/ヘブル1:9,10:29;ゼカリヤ12:10

4 召会の中での造り変え: 神の召会は、新鮮な、また活気づける神の恵みを、下ってくる露として経験します。この露は、神の深い同情を通して天から私たちに臨み、わたしたちに水を注ぎ、私たちを造り変えます　/詩73:17,133:3

第二週　（継続）

Ⅱ.神の恵みの福音 - 私たちは神の恵みの執事職に分があります　/エペソ3:2 使徒20:24,32

見る（認識）

パウロは彼の務めにおいて、神の恵みの福音を厳かに証しして、神を人々の中へと供給しました

A 恵みとは神の訪れであり人と結合し調和され一になります

恵みとは、神の訪れであり、人の中にとどまり、人の中で生まれ、人と一になります　/マタイ1:18;Ⅱテモテ4:22

B 私たちは恵みを経験し享受すべきです。そうしてこそ恵みの執事職を遂行できます

私たちの生活は、恵みの生活、恵みの経験でなければなりません。それによって私たちは、恵みの執事職、すなわち、恵みの分与を遂行することができます　/Ⅱコリント12:9;エペソ3:2

1 語ることにより伝達する：私たちの言葉は聞く人に恵みを伝えるべきです　/ルカ4:22;エペソ4:29

2 生活により明らかにする：召会生活の中で、私たちは恵みを受けるとき、召会は建造されます　/使徒4:33,11:23

C 恵みを経験し享受した結果は、キリストのからだの実際を生み出すことです

キリストのからだの実行上の生活と建造は、神の恵みとしてのキリストを内側で享受することから出てきます　/Ⅰコリント1:9;Ⅱコリント13:14

- 消極面/問題を抹消:キリストの享受は、十字架の働きを通して、召会の中のすべての問題を解決します　/Ⅰコリント2:2
- 積極面/尊い材料:. キリストの享受は、命の成長という結果になり、私たちを召会建造のための尊い材料として生み出します　/Ⅰコリント3:6,12,12:1-11

経験の過程（成就され一となる）

D 恵みの経験は完全に苦難の環境の中での物語です　/林後1:8-10 林后4:7-10 林后12:9

新契約の奉仕者は、苦難を通してキリストを彼らのすべてに十分な恵みとして享受します。新契約の務めは、啓示と苦難によって生み出されます

1 覆う住まいとして:恵みとしてのキリストは、新契約の奉仕者の上に幕屋を張る力となり、彼らの弱さを影となって覆い、彼らの住まいとなります　/Ⅱコリント12:9

2 行動する力として：行動と保護のために、キリストにある神の恵みを私たちに適用して、強さと力とする必要があります　/Ⅱコリント4:7;Ⅰコリント15:10

E 私たちがキリストの中にいることを経験する-キリストを入るべき良き地として享受する　/ヨハネ6:57 ヨハネ15:7

神の恵みとしてのキリストは、私たちが入り、享受し、経験し、あずかり、所有する良き地です　/コロサイ1:12

F 私たちの中にいるキリストを経験する一私たちの中へ伝達される三一の神を享受します　/ヨハネ6:63 ヨハネ15:7

恵みとは、神聖な三一が私たちの中へと伝達されて、私たちの享受となること、また三一の神が父、子、霊という三つの面において具体的に現されることです　/Ⅱコリント13:14;民数記6:24-26;詩36:8-9

1 三一の伝達:主の恵みは、私たちの命としての主ご自身であり、私たちの享受となります。神の愛は、神ご自身であり、主の恵みの源です。その霊の交わりは、その霊ご自身であり、主の恵みと神の愛との伝達であり、私たちにあずからせます。

2 霊的な命脈:召会生活の全体はⅡコリント13:14においてです;私たちの中の神聖な三一の流れは、霊的な命脈です。

経験の結果

G 恵みの産物は、三一の神の詩としての召会（すなわちキリストのからだ）です

神の恵みの産物は、三一の神の詩としての召会であって、彼の恵みの卓越した豊富を、彼の無限の知恵と神聖な構想と共に展覧します　/エペソ2:10,7

Ⅲ. 恵みの究極的完成—新エルサレム　/啓22:21

新約時代を通して、彼の選ばれた者たちの中へと分与される主イエスの恵みは、新エルサレムにおいて究極的に完成します

三一の神は、すべての信者によって享受される恵みとなって、永遠に至ります